



納入後の設備組み立てが進行中のALL UR台南農場

# ハイテム 台湾に最新設備を納入 ALL URグループの65万羽農場に

ハイテム(安田勝彦社長)本社・岐阜県各務原市テクノプラザ2-10)は、台湾ALL URグループ(養鶏、ホテルチェーン事業)が投資する台湾最大規模の農場に最新設備を納入した。鶏舎仕様は8段4列の6万5000羽収容が10棟。

納入設備の主な特徴は、①設別完全トラフィックコントロール、パーコンへの水平排出による究極破卵ゼロの新開発「ハイキャバエレベーター」(最大2万5000機肥料「ソイルボーン」の生産を予定し、排気塵の生産を削減)、排気塵熱乾燥設備「プレートドライヤー」を装備。

台湾の採卵鶏飼養羽数は約4500万羽、鶏卵を含むたまご類の1人当たり年間消費量は20・35個のみでは350個となっている(令和6年2月、日本養鶏協会「台湾市場における鶏卵流通実態調査報告書」)

「台湾養鶏協会訪問面談」

実施報告書「より」・方式で展開している。

ハイテムは日本国内での実績と、自社工場(中国・天津)での機材から一貫製造体制の強みを生かして少ない破卵率など、設備選定が生む「養鶏第2の利益」を前面に打ち出し、世界人口8割のアジアにおけるEFA(エッグ・ファーム・オートメーション)のリーダーを目指す戦略を、日本・中国は直売、韓国・台湾・アセアン諸国・インド地区は各国総代理店